



春野中だより

〈教育理念〉 自他共愛
〈学校教育目標〉・明るく・豊かに・たくましく

令和5年度 第2号
令和5年5月2日（火）発行
さいたま市立春野中学校
〒337-0002 見沼区春野 2-2-1
TEL 682-3951 FAX 682-3952

「子どもの居場所『ホームベース』づくり」

校長 永谷 和俊

始業式・入学式から始まり、新しい仲間との出会い、学級開きから委員会・係決め、部活動の入部や新しい先輩や後輩との関係、行事では体力テストや自転車安全教室等、保健関係では各種検診、いわゆる平常日課のないような慌ただしい1か月があっという間に過ぎました。特に1年生にとっての環境の変化は、とても大変だったことと思います。よく、頑張って乗り越えてくれました。ぜひ、我がお子様をほめてください。また、その1年生を温かく迎えている2・3年生や先生方にも多々感動をいただき、感謝いっぱいの4月でした。疲れもたまってきたと思いますが、このゴールデンウィークで一息ついて、また元気に5月を過ごしていくことを楽しみにしております。

さて、私もこの4月からの着任で様々な環境の変化がありましたが、皆さんに温かく迎えられ、感謝・感動の日々を過ごしております。例えばですが、4月最初にはこのようなことがありました。入学式・始業式というときが始まるという4月10日の朝、近隣の方から1本の電話をいただきました。うちの生徒が何か迷惑をかけてしまったかなと、反射的に心配をしてしまいましたが、「もう、2～3か月前の話ですが、犬の散歩をしていた時に、春野中の生徒がとても気持ちの良いあいさつをしてくれて、とても、気分がよくなりました。」というものでした。

なんと、素敵な報告でしょうか。嫌なことは、文句や苦情として伝えやすいのですが、わざわざ伝えていただき、こちら心がとても温かくなりました。この話は自分の中はしまっただけではいけないと、始業式でも生徒に伝え、生徒たちも先生もよい気持ちになったことと思います。言葉に出すこと、伝え合うことの大切さを再確認いたしました。この先も、たくさん良いことがあるだろうと楽しみで仕方ありません。

さて、先月号では生徒に、「『自分のことが大好きでたまらない』になってください」そのために、とにかく自分を褒めましょうとお願いをしました。今後とも語り続けていこうと思っています。

そして次は、その子どもたちが健やかに育つための安らぐ場を「学校」でも「家庭」でも準備することが大人の責務だと思っています。

「自分が好き」「学校が好き」と思えるような、達成感、充実感、自己有用感などを、味わわせられるような「環境づくり」「場面づくり」を我々教職員は研究し、生徒が「わくわくする学びの場」人間性を育む望ましい安らぎの場、いわゆる「ホームベースづくり」を目指していきます。

ご家庭におかれましても、子どもたちも多感な思春期を迎え、保護者の皆様も思うように子どもが扱えないこともあるとは存じますが、心身の安らぎとなる、家庭の居場所「ホームベースづくり」を今後とも続けていただき、家庭と学校が連携できるよう、ご理解・ご協力をお願いいたします。

また、「家庭」「学校」における「居場所づくり」「ホームベースづくり」に向けた、具体的なご意見・ご提案を教えてくださいたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。